

第 1 回オホーツク糖尿病教育研修会

メインテーマ：合併症を持つ患者さんのケア

オホーツク糖尿病教育研究会では、初めての研修会を北見で開催いたします。CDEJ 更新単位の取得を目指していますが、資格に関係なく糖尿病ケアに関心のある方は、どうぞ、ふるってご参加ください。

日 時：平成 24 年 3 月 11 日(日) 13:20～ 16:40
会 場：北見赤十字病院講堂(北見市北6条東2丁目)
参加費：1,000 円(当日受付にてお支払いください)
申込方法：参加希望者の氏名・所属・職種を FAX でお送りください。
(FAX 0157-66-3377)
修得単位：日本糖尿病療養指導士 認定更新のための第 1 群<看護職> 2単位、
または第 2 群 1単位(申請中)のいずれかを選択

I. プ ロ グ ラ ム

開会のご挨拶 オホーツク糖尿病教育研究会 代表 河口 てる子 13:20～13:25

1. 講演 I 13:25～14:25

座長 医療法人 K&I オホーツク海病院 村松 一枝
「食事療法は守られるのか？初診から1年間の推移と患者の気持ち」
日本赤十字北海道看護大学 学長・教授 河口 てる子 先生

2. 講演 II 14:25～15:25

座長 JA 北海道厚生連 網走厚生病院 折手 彩乃
「合併症を持つ患者の治療」
医療法人社団 煌生会 北見循環器クリニック 院長 今野 敦 先生

<休憩> 15:25～15:35

3. 演題・事例発表 15:35～16:35

座長 医療法人社団 煌生会北見循環器クリニック 笠井 由理・尾村 あずさ
「糖尿病とともに生きる患者と家族への看護について考える
-合併症症状から抑うつ状態を呈した事例より学んだこと」
北見赤十字病院 看護師・日本糖尿病療養指導士 宮下 里見 先生
「知っておきたい SMBG のピットフォール」
北見赤十字病院 臨床検査技師・日本糖尿病療養指導士 市田 文男 先生
「合併症を持つ患者さんの食事療法事例」
網走厚生病院 管理栄養士・日本糖尿病療養指導士 山内 さおり 先生

閉会のご挨拶 オホーツク糖尿病教育研究会 世話人 柴田 祐美子 16:35～16:40

総 会 平成 23 年度事業報告・決算報告について 16:50～17:00
平成 24 年度事業計画・予算案について

共催：オホーツク糖尿病教育研究会・日本糖尿病教育・看護学会

後援：イーライリリー株式会社